

□議員名：山田伸幸

1 議会

論点	一般質問の場で市長の答弁を求めても、手を挙げるのは副市長か、ほかの理事者で、市長が手を挙げるが大変珍しい状況だ。市長は、議員の質問に対してどのように考えているのか。
回答	議員の事前通告に基づき、事前に市長とも協議をした上で臨んでいる。市長の政治姿勢等の本人でなければ答えられないものは市長が答える。質問内容により、各分野における取り組み状況、今後の見通しなど、明確に答え疑義の解決に向けて理解のために、市長等とされる参与である副市長、部長、また次長が適切に答弁をする。

論点	市長の政治姿勢を議会にどう臨んでいるのかを聞いているのに、理事者が答弁したのでは、議会の緊張を欠く。あえて藤田市長自身が一般質問の場にどのような構えで臨んでいるのか。
回答	市長以外の者が答弁をしたとしても、それは行政としてのスタンスをしっかりと伝える場であると認識している。

2 メガソーラー発電所建設に伴う自然災害について

論点	宇部市と厚狭地区の境にメガソーラー発電所が建設されているが、建設現場から大雨の際に大量の土砂が源流部の溜池に流れ込んだ。住民はさらなる豪雨災害を心配している。住民の安全な暮らしを脅かしているが、その実態を知っているか。
回答	災害防止のために洪水調整池が設置される。業者への指導は県が行う。県と連携を図りながら適切な対応を行っていきたい。

論点	標高180mの山を150mまで切り下げている。樹木は全部伐採をされて、サッカーコート50面分ぐらいの広大な土地がつけられた。流水については、沈砂池が受けとめるということだが、近年の大雨は想定を超える。市長は住民の不安に答える責任がある。住民と向き合い懇談をする考えはないか。
----	---

回答	豪雨対策は大変重要な課題である。引き続き県と連携の上、地元住民の声を聞きながら必要な対策を講じていきたい。懇談については協議する。
----	---

論点	地区内を流れる石東川は、蛍祭りのゲンジボタルが発生する川である。来年の蛍祭りが開催できるかどうか。蛍がない蛍祭りになりはしないかという心配される。石東川は厚狭川と合流するが、下流にあるのが鴨庄浄水場だ。浄水場に毎日泥水が流れ込むことになる。水道局の考えはどうか。
回答	浄水場の機能としては問題ない。毎日水質検査をしており問題はない。